

報道関係各位

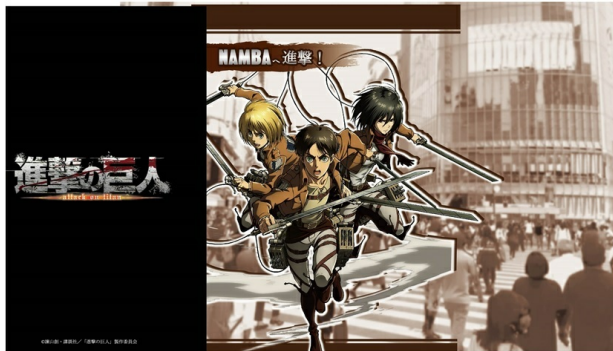
2019年12月2日～「5G革命」前夜、公式「進撃の巨人」POP UP STORE@MAGNET by SHIBUYA109、@エディオンなんば本店へ東阪同時「進撃」！

2019年12月2日、株式会社アイ・シー・エージェンシー（渋谷区代々木 代表取締役 秋山裕之、以下、I C A。）は、公式「進撃の巨人」POP UP STOREを、@渋谷スクランブル交差点、MAGNET by SHIBUYA109 5Fポップカルチャーフロアで株式会社ビーポイントと、@大阪ミナミ玄関口、エディオンなんば本店1Fイベントスクエアで株式会社新東通信と、東阪同時開催いたします。

2019年12月2日、株式会社アイ・シー・エージェンシー（渋谷区代々木 代表取締役 秋山裕之、以下、I C A。）は、公式「進撃の巨人」POP UP STOREを、@渋谷スクランブル交差点、MAGNET by SHIBUYA109 5Fポップカルチャーフロアで株式会社ビーポイントと、@大阪ミナミ玄関口、エディオンなんば本店1Fイベントスクエアで株式会社新東通信と、東阪同時開催いたします。

2020年から5Gで生じることが、「インターネット」での革命ではなく「商習慣」での革命。これまでモノで受けてきたサービスの大半がネットに移行完了し、リアルの中でさらに求められる大半は「体験」と「体感」となるのかも知れません。POP UP STOREは、その「体験」の象徴的な「場」となり、SNSによる拡散を促すメディアと化していきます。この2020年の革命前夜12月、渋谷と難波という象徴的なリアル「場」に向けて「進撃」します！

「NAMBA へ進撃！」



「SHIBUYA へ進撃！」



渋谷 MAGNET by SHIBUYA109

背景と目的 渋谷スクランブル交差点という国内でも有数の集客、話題スポットからSNSネット含め情報を拡散する事。年末カウントダウンやワールドカップ勝利時、ハロウィン時のニュース訴求は周知の通り。

郷ひろみ（アチチ・アチ）イベントでの交差点の混乱、紅白出演。道玄坂109での西城秀樹（ヤングマン）歌唱時の交差点の混乱は有名。渋谷スクランブル交差点に面した、MAGNET by SHIBUYA109がリニューアルした今、5Fポップカルチャーフロアのイベント・スペースを活用して、期間限定の番組宣伝と関連物販を行い、流行に敏感な若年ターゲット層へ訴求を拡げる。ファイアー通りからの誘導 一日当りの往来人口は約30万人というファイアー通りに面した109壁面にテレビモニターが設置されており、往来する人々に、5Fのビーポイント店舗と（12/8(土)）イベント・スペースでのイベントを動画告知します。本作品の公式HP、及び公式ツイッター等での告知連動により、宣伝のシナジー効果を発揮。

MAGNET by SHIBUYA109 [イベントスペース](#)



エディオンなんば本店 1F イベントスクエア



エディオンなんば本店

背景と目的 大阪市内のターミナル、なんばの駅前に立地するエディオンなんば本店の1FイベントスクエアでPOP UP STOREを展開。大阪南ミナミエリアの中心地に於いて、他では手に入らない「進撃の巨人」限定グッズを販売します。エディオンなんば本店は、地上9階建て、売場面積はエディオン最大級の約1万5000平方メートル。「体験と体感」「発見と感動」をテーマに「五感で楽しんでもらう店」をコンセプトに、従来の家電量販店とは異なる構成の店舗です。

また、エディオンなんば本店は、スマホケースでは国内最大級の「進撃の巨人」の種類を取り揃え、エディオンオリジナルデザインの商品、EDION SELECTION(ICA発売ブランド)のみで約60種類を展開予定。

2019年12月2日リリースの渋谷と難波の独占商品、グッズ3種の神器 プラスα(クリアファイル、アクリルスタンド、缶バッジ、B2タペストリー、アクリルキーホルダー)は数量限定にて無くなり次第、販売終了いたします。

以上、店頭では、比類なき、「進撃の巨人」一連主題歌のLinked Horizonの音楽をクローズアップし、CDや映像商品も販売します。

■公式「進撃の巨人」POP UP STORE開催情報

東京) MAGNET by SHIBUYA109

《期間》2019年12月2日(月)～12月15日(日)

《場所》東京都渋谷区神南1-23-10 5階

大阪) エディオンなんば本店

《期間》2019年12月2日(月)～12月13日(金)

《場所》大阪府中央区難波3丁目2番18号 1階イベントスクエア

※2019年末より開始する通信大容量化「5G」革命により、テレビ、パッケージという映像コンテンツに於いて、「3G」革命により音楽の「記録メディア」に生じた変化同様、「記録メディア」のコンテンツは「視聴」として無償に近く消費されていきます。一方で、ライブやシネマコンプレックス、そしてPOP UP STORE等の場は「体験」として益々、ビジネス上の価値が高まっています。

ICAは、ライツ・マネジメント事業に於いて、リアルコンサート、シネコン、POP UP STOREを、ある意味、プッシュ型でユーザーとの接点をつくり出す「メディア」と捉えます。即ち、ある種のリアルの場は、SNSで情報が拡散されるインタラクティブなメディアとして拡大し、発展していきます。

【アイ・シー・エージェンシー 企業概要】

会社名 : 株式会社アイ・シー・エージェンシー

代表者 : 秋山 裕之

本社事務所 : 〒151-0053 東京都渋谷区代々木3-57-6グランフォーレ303

資本金 : 9742万5千円

主な事業内容 : マーチャングライジング事業、音楽配信事業、著作隣接権運用事業、著作権管理事業

設立年月日 : 2000年2月

I C A URL : <http://www.icagency.net/>

当プレスリリースURL

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000071.000003990.html>

I C Aのプレスリリース一覧

https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/3990

<報道関係問合せ/商品販売元/商品に関するお問い合わせ>

アイ・シー・エージェンシー 秋山 裕之 innovate@icagency.net

〒151-0053 東京都渋谷区代々木3-57-6グランフォーレ303

TEL : 03-5333-0225 FAX : 03-5333-0226